



J3AER



*** アマチュア無線 QSLカード切手 (その1) ***

J3AER 荒川泰蔵



1. ハード島のQSLカードVK0EK

NDXAの皆さんには既にお馴染みでしょうが、5ドルとSAEを送っておいたところVK0EKの豪華なQSLカードが届きました(写真1)。このQSLカードと合わせて、JJ3PRT青木さんが送ってくれたVK0EKのニュースレターを見ると、極地に近い絶海の孤島の自然の美しさと厳しさが伺えますね。ハード島のQSLカードと言えば、JA3UCO細川さんに見せて頂いた1983年のVK0JSのQSLカードが頭に残っています。それはVK9NS, James B. Smithさん(故人)が、同じデザインをカシエにあしらったDXペディションの記念カバーを作られたからです(CQ誌2013年6月号161頁「アマチュア無線の切手」参照)。



写真1 ダイレクトで届いたVK0EKの豪華なQSLカード。

2. UNITED RADIO QSL MANAGEMENT BUREAU

JJ3PRT青木さんやJP3AYQ真田さんから頂くコレクション用の封筒の切手部分に、カラフルな擬人化した鳥のロゴが描かれているのが気になっていたのですが、嬉しいことに今回届いた封筒にはVK0EKのQSLカードと共に、その団体の案内書(写真2)が入っていてその正体がわかりました。これもNDXAの皆さんは先刻ご承知の事でしょうが...



写真2 左: VK0EKのQSLカードが送られてきた封筒。 右: QSLビューローの案内書。

3. アマチュア無線のQSLカード切手

DXペディションのQSLカードは、ドネーション集めのためダイレクト交換や、前項のような特殊なQSLビューローを使うことがあるようですが、多くの国はJARLのようなアマチュア無線団体にQSLビューローを持っていて、そこを經由してQSLカードを交換しています。その手数料を捻出するために1960年代ごろに流行ったのがアマチュア無線QSLカード切手(以後、QSL切手と略す)です(写真3)。前置きが長くなりましたが、今回からそれらの切手を紹介したいと思います。



写真3 アマチュア無線QSLカード切手の一例。ドミニカ共和国(HI)のラジオクラブ(RCD)のQSLカード切手。

4. 日本(JA)のアマチュア無線QSLカード切手

我が国、日本にもJARLが発行したQSL切手があったのを覚えておられる方も多いと思います。国内宛は青色、海外宛は茶色のQSL切手(写真4)が使われました。青色が1円、茶色が2円だったでしょうか・・・。



写真4 JARLのQSL切手が貼られた、JA1KMのG8TK宛てSLカード(1960年)。

5. 外国のアマチュア無線QSLカード切手

外国のQSLカードに使われたQSL切手の一例として、ここにはスイス(HB9)とスペイン(EA)のQSLカードやSWLカードを示します(写真5)。



写真5 外国のQSL切手が貼られたQSLカードの一例。スイス(HB9)とスペイン(EA)のQSL/SWLカード。

6. アマチュア無線QSLカード切手を貼ったQSLカードを入手した経緯

郵便切手を含む郵趣品の蒐集のため、オークションはよく使う手ですが、世界の切手を扱う英国のオークション誌(写真6)に「QSLカードの切手」が出品されていたので落札したものです。EMSで送られた小包に358ポンドのインボイスが入っていたため、税関で3,100円の消費税と200円の通関料が加算されました。届いたのはQSL切手を貼った180枚ほどのQSLカードで、期待したものと違いがっかりしましたが、売りに出したと思われるコレクターの「Amateur Radio QSL Card 'Stamps」と題する切手誌への記事のコピーが入っていたので、こんなコレクションもあるのだと気を取り直しつつ眺めました(写真7)。そして多くのQSLカードの中に混じていた、著者G3BDQ, Jhon D. HeysさんのQSLカードを見つけました(写真8)。

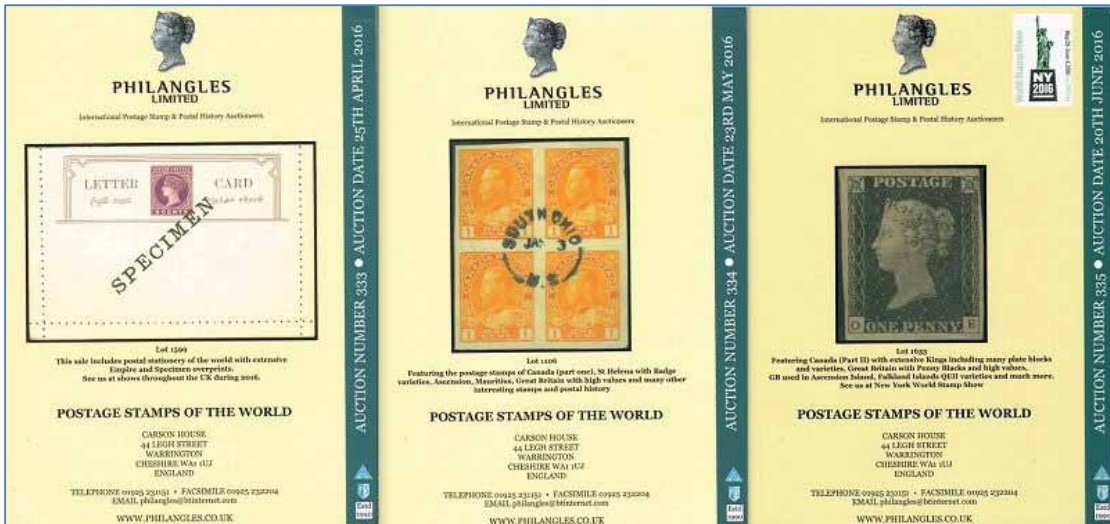


写真6 英国の切手オークション誌PHILANGELES、最近の3ヶ月分。

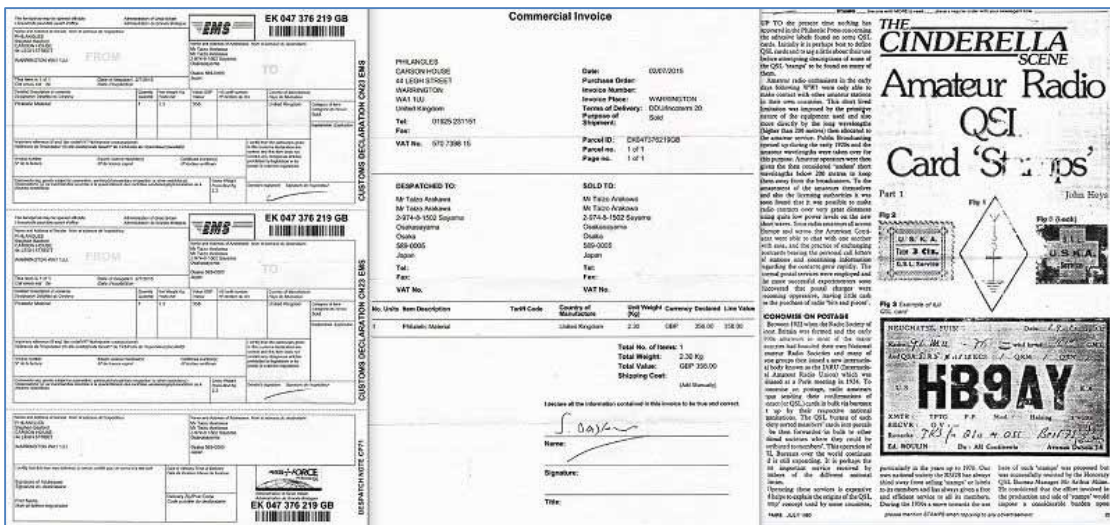


写真7 左:EMSの送り状。中:インボイス。右:切手誌の記事コピー。



写真8 QSL切手のコレクターで、切手誌への著者G3BDQ, Jhon D. HeysさんのQSLカード。

次号に続く



J3AER



*** アマチュア無線 QSLカード切手 (その2) ***

J3AER 荒川泰蔵



1. Juan de Nova DXペディション記念切手つき封筒

フランスの郵趣家が、Juan de Nova DXペディションを記念したTAAF (仏領南極地域)発行の、切手つき封筒を送ってくれました(写真1)。右側の切手は2014年のTromerin DXペディションFT4TAの切手と同じデザインですが、オペレーターが使用しているノートパソコンの画面のFT4TAの文字が、FT4JAに変わっています。写真では切手を貼っているように見えますが、これは封筒に直接印刷された切手つき封筒です。FT4JAのQSLカードは、この封筒で世界各地へ送られることでしょう。



写真1 Juan de Nova DXペディションを記念したTAAFの記念切手つき封筒。

2. スペインのQSLカード(EA3KI)に貼られたQSL切手

オークションで入札した180枚ほどのQSLカードを整理して、ある程度調査した上で記事にしなければと考えていたのですが、時間の経つのが早く追いつきませんでした。とりあえずカントリー別に葉書ホルダーに整理をしたのですが、規格外というか、大きくてそれに収まらないQSLカードが7枚ありましたので、今回はそれらを紹介させていただきます。最近では2つ折りの豪華なQSLカードを目にしますが、当時は目立たせるために大きなサイズにしたのかも知れません。

先ずスペインのEA3KIからG5IVに送られたQSLカードで、1968年9月12日のQSOのものです。122 x 174mmと今回のロットでは最大のサイズです。裏にはUREのロゴの入った20 x 14mmの小さいQSL切手が2枚貼られています(写真2)。



写真2 EA3KIのG5IV宛QSLカー(1968年, 122 x 174mm)、裏にUREロゴ入りのQSL切手が2枚。

3. オランダのQSLカード(PI1RRS)とSWLカード(NL1002)に貼られたQSL切手2種

続いてオランダの2枚のカードです。1枚はQSLカードですが、もう1枚はSWLカードです。最初はPI1RRSからG2LD宛てに送られたカードで1955年10月15日のQSOのものです(写真3)。このPI1RRSはオランダ空軍のアマチュア無線クラブのようです。このカードの裏側にはVeronのロゴとOfficial QSL Bureauと書かれた43 x 25mmの大型のQSL切手が貼られています。

もう1枚のSWLカードはNL1002が1950年7月18日に3.6MHzでのG2LDとG3DVKの交信を受信し、G2LDに送ったカードです(写真4)。裏には同じくVeronのロゴが入ったQSL切手が貼られていますが、25 x 18mmと半分以下のサイズで青色の印刷です。今後この2種のQSL切手の違いについて調べてみる必要があります。



写真3 PI1RRSのG2LD宛QSLカード(1955年, 115 x 159mm)、裏に黒色印刷の大型QSL切手が1枚。

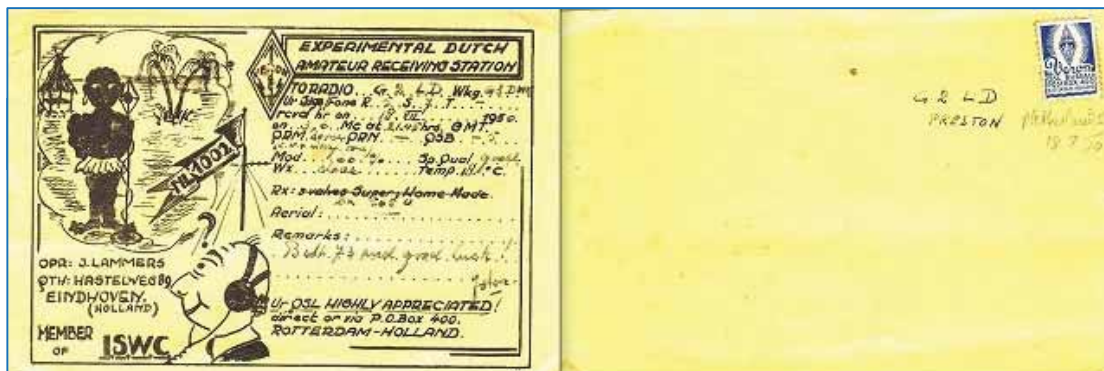


写真4 NL1002のG2LD宛SWLカード(1950年, 111 x 166mm)、裏に青色印刷の小型QSL切手が1枚。

4. フランスのSWLカード(REF5398)に貼られたQSL切手

次はフランスREF5398が1949年8月27日に14MHzでG3XZの信号を受信し、G3XZに送ったSWLカードです。表にREF/QSLとロゴが入った青色印刷の26 x 21mmのQSL切手が2枚貼られていて、SERVICE/QSLの文字が入った消印が押されています(写真5)。先のオランダのSWLもそうですが、SWL番号のプリフィックスは国際符字列による国籍表示ではないのですね。



写真5 REF5398のG3XZ宛SWLカード(1949年, 113 x 150)、表に貼られた2枚のQSL切手に消印が押されている。

5. ブラジルのQSLカード(PY6BK)に貼られたQSL切手

次は南米に飛んで、ブラジルのPY6BKのQSLカードです。1965年4月18日のQSOで、G5IV宛てに送られたものです。裏に28 x 22mmの銀紙に青色で印刷したLABRE 25周年記念のQSL切手が貼られ、黒色の消印が押されています(写真6)。



写真6 PY6BKのG5IV宛QSLカード(1965年, 114 x 159mm)、裏に貼られたQSL切手に消印が押されている。

6. アルゼンチンのQSLカード(LU6DJD)に貼られたQSL切手

続いてアルゼンチンのLU6DJDのQSLカードです。これは1952年4月24日にG2MFと14MHzでQSOしてG2MFに宛てたものです(写真7)。裏側にはRCAのロゴを真ん中に描いた、高さ24mm、底辺が33mmの三角形のQSL切手が貼られています。丸い消印のような印影が表と裏に見られますが、これはLU6DJDのコールサインと名前を入れた印影で、QSLビューローとは関係ありません。



写真7 LU6DJDのG2MF宛QSLカード(1952年, 114 x 161mm)、裏に三角形のQSL切手が1枚。

7. 米国のQSLカード(WA9OWJ)に貼られたQCWAのステッカー

このWA9OWJからG8TK宛てのQSLカードに貼られているのは、QSL切手ではなく、QCWAメンバーのステッカーだと思いますが、入手したQSLカードのロットに含まれていたのでとりあえず紹介します(写真8)。筆者もQCWAの終身会員ですが、クラブでQSLビューローとしてQSLカードを扱った話は聞いたことがありません。

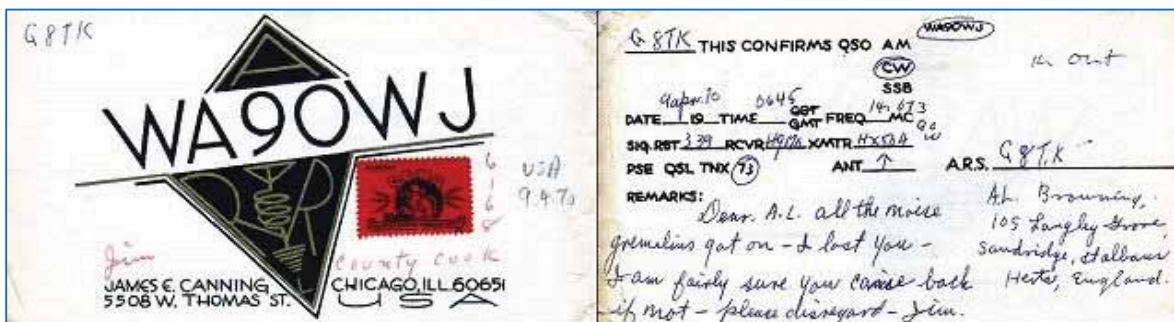


写真8 WA9OWJのG8TK宛QSLカード(1970年, 89 x 161mm)、表にQCWAのステッカーが1枚。

次号に続く
JA3AER 荒川さん



Members DX Reports



J3AER



*** アマチュア無線 QSLカード切手 (その3) ***

J3AER 荒川泰蔵



1. Juan de Nova DXペディションのQSLカードと記念切手つき封筒

既に皆さんもお受け取りとは思いますが、私にもFT4JAのQSLカードがダイレクトで届きました(写真1)。私にとって、これはDXCCでもIOTAでもNewになり嬉しいのですが、それが送られてきた封筒も(写真2)、郵趣のコレクションとして嬉しいものです。CQ誌9月号の「近着QSL紹介」でJA1HGY間下さんが、QSLカードと共にこの封筒を写真入りで「FT4JAの記念切手を貼った封筒」と紹介しておられますが、これは先月号で紹介したように封筒に直接印刷された「切手つき封筒」です。

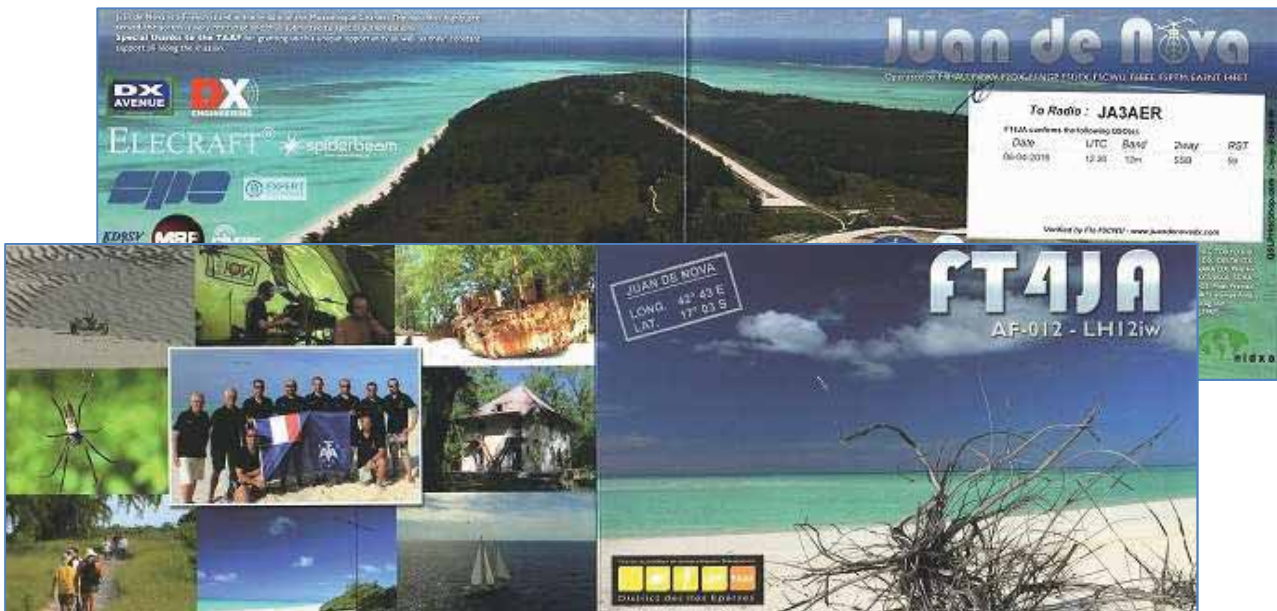


写真1 FT4JAのQSLカード。



写真2 Juan de Nova DXペディションを記念したTAAFの記念切手つき封筒。

2. FT4JAの大量のQSLカードはどのように発送されたのか・・・

2016年3月30日から4月10日までに、延べ10万を超えるQSOを達成したFT4JAのQSLカードは、どのように発送されるのか興味のあるところでしたが、彼らのHPIには家族の応援をえて発送の準備をする写真が掲載されていて(写真3の左)、7月11日に100kgの郵便物がパリのTAAF郵便サービスに送られた旨の記述がありました。しかし、私が受け取った封筒は4月10日付の消印がありませんので、去る7月23日に会ったF6BEE, Jacques Sagetさんに尋ねてみますと、Juan de Nova のただ一人の行政官が入国管理から郵便業務まで行っていたと、郵便物を取り扱っている写真をスライドで見せてくれました(写真3の右)。私を含むドネーションをした人の封筒は事前に準備して、ここで差し出されたものかも知れません。



写真3 (左) 4枚の写真はFT4JAのHPIに掲載された写真の一部。(右) F6BEE撮影のJuan de Nova 郵便局の写真。

3. スイス (HB9) のQSL切手3種

さて、本題のQSL切手に話を戻しましょう。その後、国別に整理してみますと、少なくとも24ヶ国 (EU 15, AF 3, NA 1, SA 3, AS 1, OC 1) で使われていたことが分かりました。QSOの時期を見ますと最も早いのが1936年で、スイス(HB9)、ハンガリー(HA)、チェコスロバキア(OK)の3ヶ国、そして最も遅いのが1984年のイタリア(I)でした。そこで、今回は最も早く使われ始めた、スイスのQSL切手を紹介します。スイスのQSL切手は大きく分類して3種類になります(写真4)。



写真4 スイスのQSL切手3種。左からType 1, Type 2, Type 3と名付けておきます。

4. スイス (HB9) のType 1 のQSL切手が貼られたSWLカード (HB9RBW) の事例 (1936年)

Type 1のQSL切手は短期間の使用だったのか1枚しかありませんでした(写真5)。デザインはシンプルなものです。

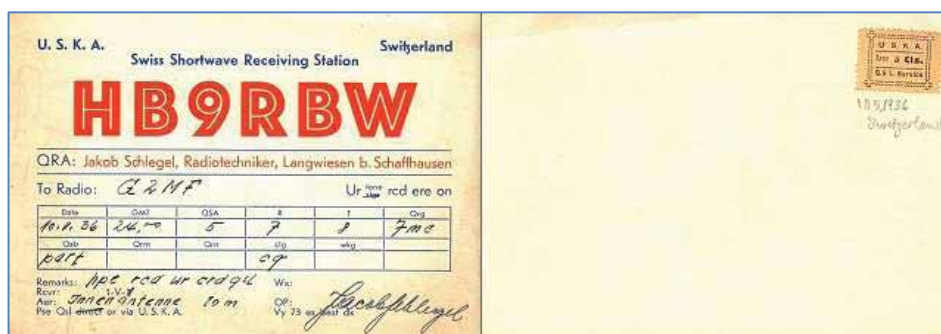


写真5 Type 1 のQSL切手が貼られたSWLカード (HB9RBW) の事例 (1936年)

5. スイス(HB9)のType 2.のQSL切手が貼られたSWLカード(HB9RKU)の事例(1936年)

Type 2のQSL切手は、スイスの国旗をデザインして刷り色は**橙色**です(写真6)。中央にスイスのアマチュア無線連盟の略称U.S.K.A.が、上下にQ.S.L. Serviceと黒色で印札されています。これはType 1の後すぐに作られたのか、1936年に使われ始めています。このType 2は入手した13枚のQSLカードの内、3枚のQSLカードに貼られていました。

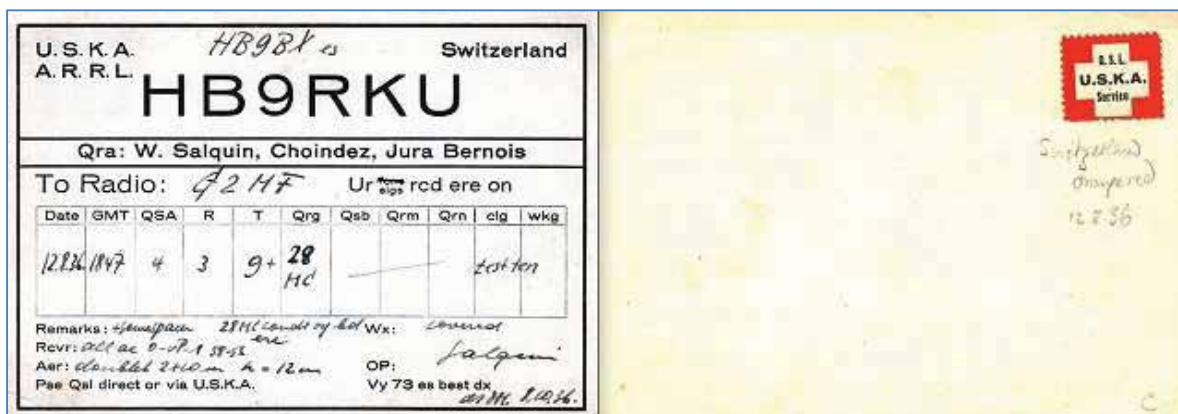


写真6 Type 2 のQSL切手が貼られたSWLカード (HB9RKU) の事例 (1936年)

6. スイス (HB9) のType 3 のQSL切手が貼られたQSLカード2種 (HB9CH, HB9US) の事例 (1947 - 1961年)

Type 3のQSL切手も、Type 2と同じくスイスの国旗をデザインしたもののですが刷り色は**赤色**です(写真7及び8)。中央にスイスのアマチュア無線連盟の略称U.S.K.A.が、上下にQ.S.L. Serviceと黒色で印札されているのはType 2と同じですが、字体(フォント)が変わっています。これらは長年にわたり何度か印刷されたようで、郵趣で郵便切手の分類をするように細かく見ると、いくつかのバラエティがあります。



写真7 Type 3 のQSL切手が貼られたQSLカード (HB9CH) の事例 (1947年)

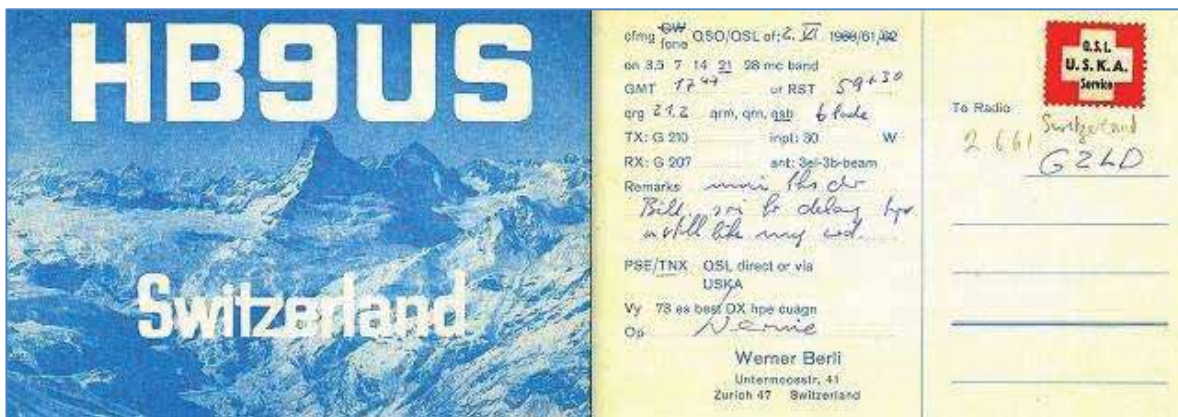


写真8 Type 3 のQSL切手が貼られたQSLカード (HB9US) の事例 (1961年)



Members DX Reports



J3AER



*** アマチュア無線 QSLカード切手 (その4) ***

J3AER 荒川泰蔵



1. QSL切手が貼られた180枚のQSLカードの分析

英国から入手した、QSLカードに貼られたQSL切手を、既に3回にわたり紹介しましたが、180枚のQSLカードを分析してみると、6大陸、25カントリーで、延べ49年間使われていたことが分かりました(写真1)。ここに紹介するこれらのQSL切手は、25カントリーから英国(G)宛に送られた、僅か180枚のQSLカードの分析ですから、世界中で使われた種類や期間を網羅しているとは到底思えませんが、今後どなたかがこれ以外のQSL切手を見つけて追加して下さることを期待して、限られた資料からの分析と考察として紹介させていただきます。

番号	使用年	PX	大陸	国名	使用期間	使用年数
1	1936	HB9	EU	スイス	1936 - 1961	26
2	1936	HA	EU	ハンガリー	1936 - 1938	3
3	1936	OK	EU	チェコスロバキア	1936 - 1937	2
4	1937	ON	EU	ベルギー	1937 - 1959	23
5	1937	F	EU	フランス	1937 - 1979	40
5	1974	FC	(EU)	コルシカ(フランス)	1974 - 1979	2
5	1974	FY	(AF)	仏領ギアナ	1974	1
6	1937	PA	EU	オランダ	1937 - 39, 1948 - 65	3 + 8
7	1937	LA	EU	ノルウエー	1937, 1982	1 + 1
8	1946	EA	EU	スペイン	1946 - 1981	36
8	1969	EA8	(AF)	カナリア諸島(スペイン)	1969	1
9	1947	ZS	AF	南アフリカ	1947 - 1982	36
10	1950	SM	EU	スウェーデン	1950 - 1980	31
11	1951	VK3	OC	ビクトリア(豪)	1951 - 1972	22
11	1958	VK6	(OC)	西オーストラリア(豪)	1958 - 1980	23
11	1970	VK4	(OC)	クィーンズランド(豪)	1970 - 1980	11
12	1952	LU	SA	アルゼンチン	1952 - 1954	3
13	1952	CN	AF	モロッコ	1952	1
14	1952	CT	EU	ポルトガル	1952 - 1971	20
15	1955	YU	EU	ユーゴスラビア	1955 - 1958	4
16	1957	DM (Y2)	EU	東ドイツ	1957 - 1979	3
17	1959	OE	EU	オーストリア	1959 - 1969	11
18	1960	PY	SA	ブラジル	1960 - 1982	23
19	1960	JA	AS	日本	1960 - 1965	6
20	1962	YV	SA	ベネズエラ	1962 - 1971	10
21	1971	CR6 (D2)	AF	アンゴラ	1971	1
22	1974	I	EU	イタリア	1974 - 1984	11
23	1979	SV	EU	ギリシャ	1979	1
24	No Data	CR7 (C8)	AF	モザンビーク	No Data	1
25	No Data	HI	NA	ドミニカ共和国	QSL切手のみ	
全体で →					1936 - 1984	49

Reg.	大陸	カントリー	プリフェックス(PX)
1	EU	15	HB9, HA, OK, ON, F, PA, LA, EA, SM, CT, YU, DM, OE, I, SV
	AF	4 (+ 2)	ZS, CN, CR6, CR7, (EA8, FY)
2	NA	1	HI
	SA	3	LU, PY, YV
3	AS	1	JA
	OC	1 (3エリア)	VK (VK3, VK4, VK6)
合計	6	25	

写真1 QSL切手が貼られた180枚のQSLカードの分析結果。

2. ハンガリー(HA)のQSL切手2種

先月号で紹介したスイス(HB9)と同じ1936年から使われたのが、ハンガリー(HA)とチェコスロバキア(OK)です。筆者の生まれる以前で80年も前のものですが、今回はその2つのカントリーを紹介しします。先ずハンガリー(HA)のQSL切手は刷色の濃さで2種に分類しましたが、刷色の濃さ以外にも連盟のロゴにある文字や記号の正確さも異なっています(写真2)。



写真2 ハンガリーのQSL切手2種。左からType 1, Type 2と名付けておきます。

3. ハンガリー(HA)のType 1のQSL切手が貼られたSWLカード(HAF3HM)の事例(1936年)

3枚のQSL/SWLカードの内2枚にType 1のQSL切手が貼られていました。連盟のロゴが青地に白抜きで印刷されており、青色が濃く、文字や記号の線の太さなどのバランスが良いものです(写真3)。QSL切手のサイズは25 x 14mmです。

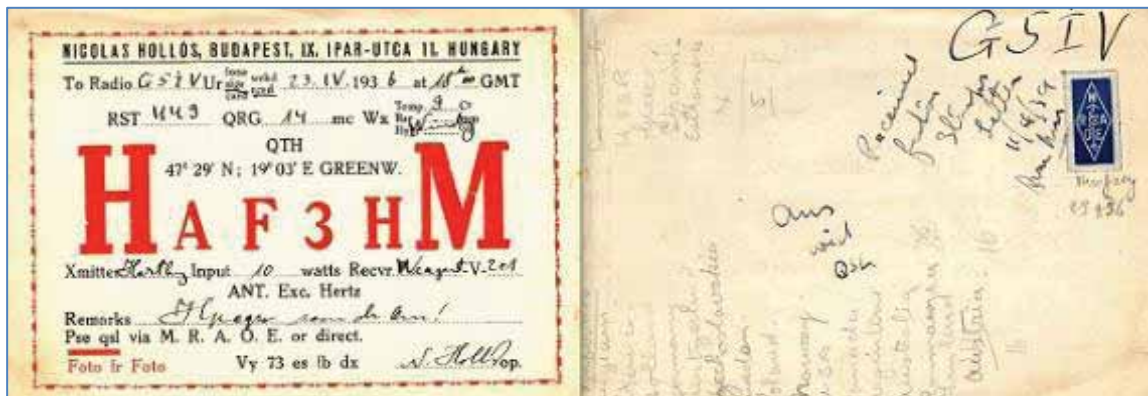


写真3 Type 1のQSL切手が貼られたSWLカード(HAF3HM)の事例(1936年)

4. ハンガリー(HA)のType 2のQSL切手が貼られたQSLカード(HA2F)の事例(1938年)

Type 2のQSL切手が貼られたQSLカードですが、前項のType 1に比べて刷色が薄く、文字や記号の線の太さなどのバランスが良くありません(写真4)。サイズはType 1と同じで25 x 14mmです。



写真4 Type 2のQSL切手が貼られたQSLカード(HA2F)の事例(1938年)

5. チェコスロバキア(OK)のQSL切手2種

次はチェコスロバキアですが、この国のQSL切手は刷色の違いで2種あります。連盟のロゴがデザインされていて、その下にQSL SERVICEと印刷されています。サイズは15 x 10mmと、今回のコレクションでは最も小さい切手です(写真5)。



写真5 チェコスロバキアのQSL切手2種。左からType 1, Type 2と名付けておきます。

6. チェコスロバキア(OK)のType 1のQSL切手が貼られたQSLカード(OK1XA)の事例(1936年)

3枚のQSL/SWLカードの内2枚にType 1のQSL切手が貼られていました。連盟のロゴがデザインされたこの切手は青色で印刷されています。(写真6)。

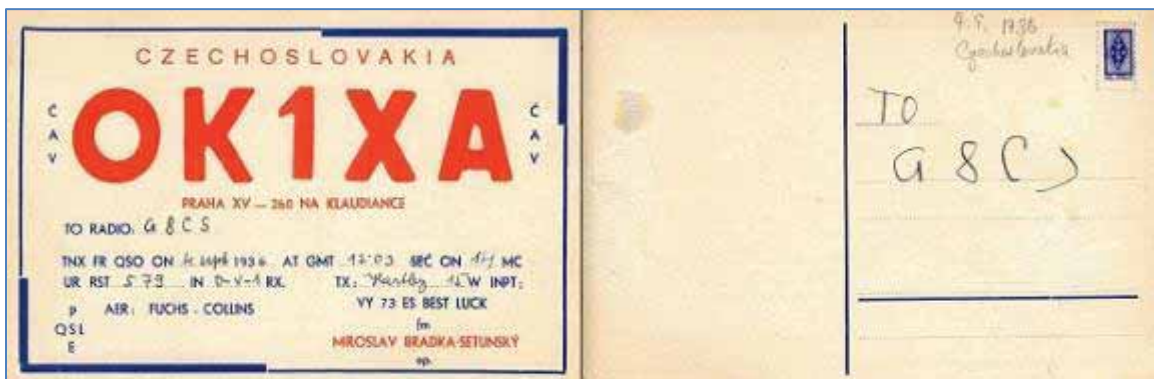


写真6 Type 1のQSL切手が貼られたQSLカード(OK1XA)の事例(1936年)

7. チェコスロバキア(OK)のType 2のQSL切手が貼られたSWLカード(OK1KB)の事例(1937年)

3枚のQSL/SWLカードの内この1枚にType 2のQSL切手が貼られていました。上記Type 1の切手とデザインは全く同じですが、赤色で印刷されています。(写真7)。

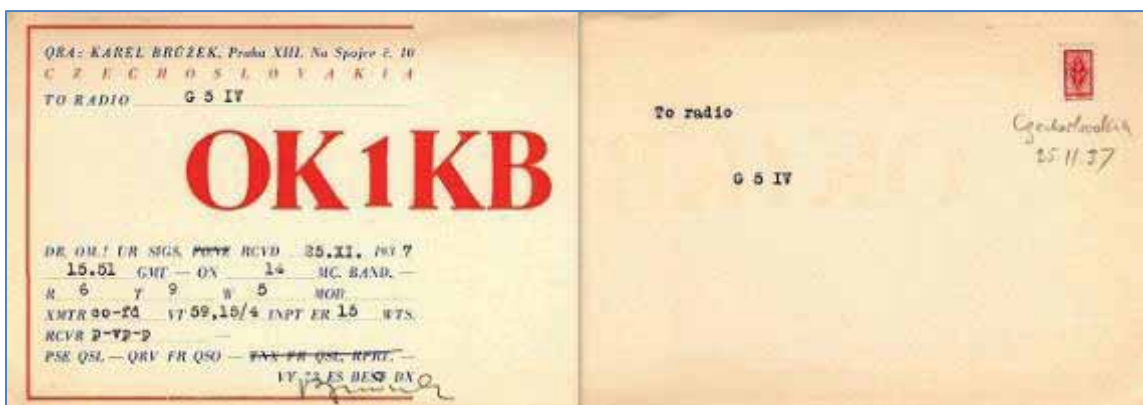


写真7 Type 2のQSL切手が貼られたSWLカード(OK1KB)の事例(1937年)



J3AER



*** アマチュア無線 QSLカード切手 (その5) ***
J3AER 荒川泰蔵



1. ベルギー (ON) のQSL切手3種

前回のハンガリーとチェコスロバキアに続いて今回はベルギーを紹介しましょう。ベルギーのQSL切手は3種類ありました(写真1)。まず最初のType1はRBのロゴにQSLの文字を入れて黒で印刷、背景を青色にしたものです。右下に10Sと黒で印刷されていますが、これが料金でしょうか。1937年に使われていました。次いでType2は黄色地に橙色と黒でデザインされた派手なものです。1939年から1947年にかけて使われていました。最後のType3は白地に茶色でUBAのロゴが印刷されたものです。1947年から1964年にかけて使われていました。

Type 1

Type 2

Type 3



写真1 ベルギーのQSL切手3種。左からType 1, Type 2, Type 3と名付けておきます。

2. ベルギー (ON) のType 1 のQSL切手が貼られたQSLカード (ON4KW, ON4VU) の事例 (1937年)

Type 1のQSL切手は2枚ありましたが、いずれも1937年の使用で、短期間の使用であったようです。(写真2 & 3)。

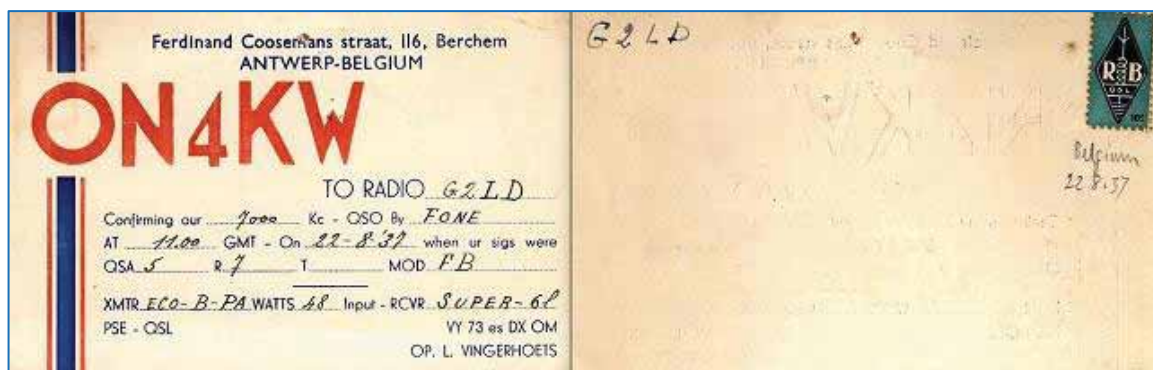


写真2 Type 1 のQSL切手が貼られたQSLカード (ON4KW) の事例 (1937年)

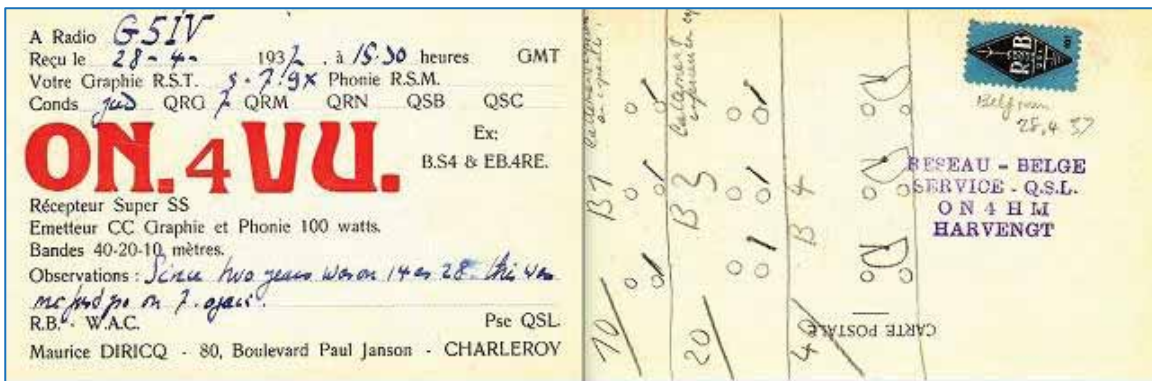


写真3 Type 1 のQSL切手が貼られたQSLカード (ON4VU) の事例 (1937年)
ON4HMがQSLビューローを担当していたのか、裏面にゴム印が押されている

3. ベルギー (ON) のType 2 のQSL切手が貼られたQSLカード (ON4SW, ON4HRD) の事例 (1939, 1947年)

Type 2のQSL切手は2枚あり、1939年と1947年のQSLカードに使われていたので、かなり長期間使用されたものと推定できます(写真4 & 5)。

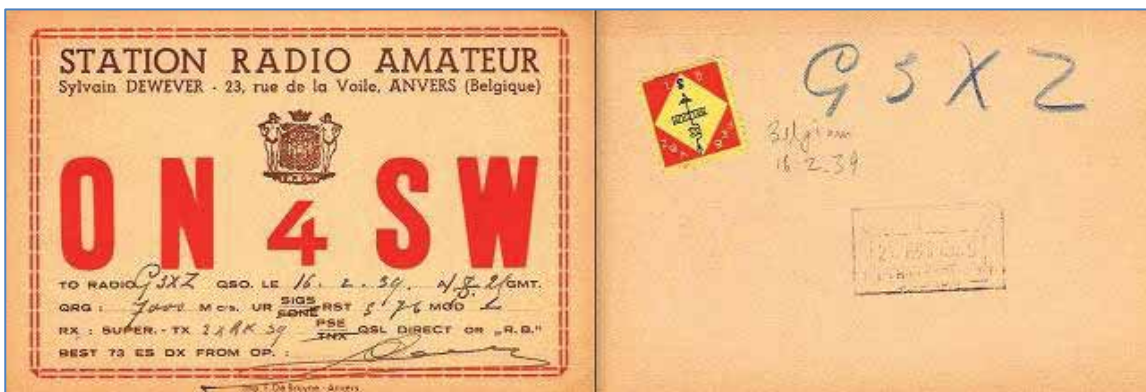


写真4 Type 2 のQSL切手が貼られたQSLカード (ON4SW) の事例 (1939年)
裏面にQSLビューローと思われる黒色の印が押されているが不鮮明で読み取れない



写真5 Type 2 のQSL切手が貼られたQSLカード (ON4HRD) の事例 (1947年)
ON4TAがQSLビューローを担当していたのか、裏面にゴム印が押されている

4. ベルギー (ON) のType 3 のQSL切手が貼られたQSL/SWLカード (ON4R, ON4IT, ONL-1053) の事例 (1947~1964年)

Type 3 のQSL切手は3枚あり、1947年から1964年にかけての長期間使われていたようです(写真6~8)。



写真6 Type 3 のQSL切手が貼られたQSLカード (ON4R) の事例 (1947年)
これにもQSLビューローON4TAのゴム印が、裏面に押されている

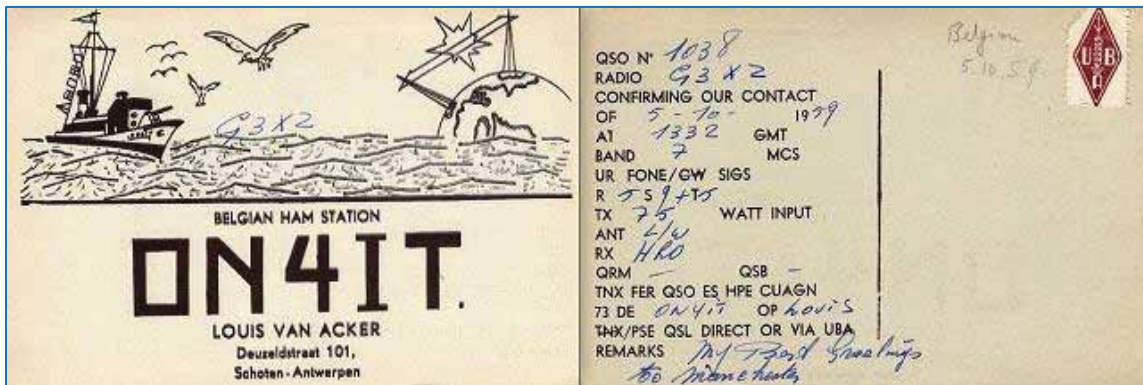


写真7 Type 3 のQSL切手が貼られたQSLカード (ON4IT) の事例 (1959年)

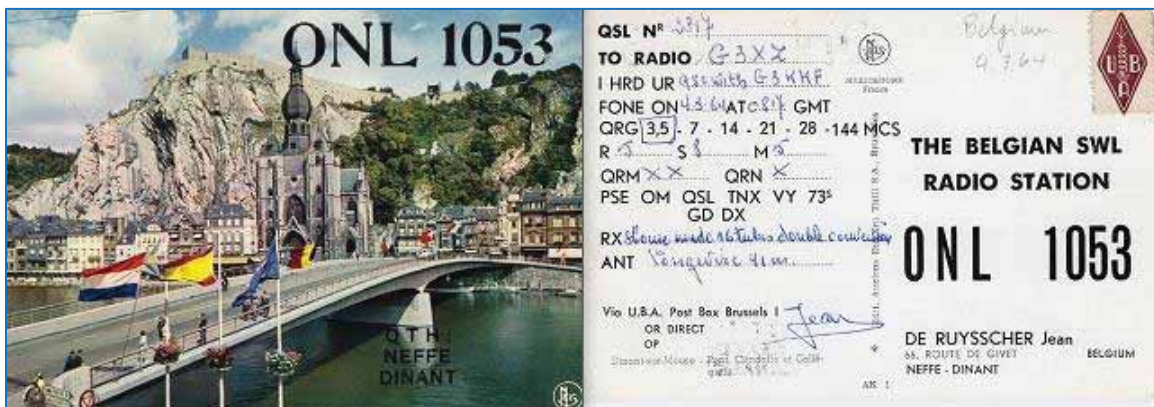


写真8 Type 3 のQSL切手が貼られたSWLカード (ONL-1053) の事例 (1964年)

次号に続く

JA3NVF様さんのアンテナ建設プロジェクトは、NDXAの青木会長を中心に経験豊富なOM達の指導と協力により、順調に進んでいるようで楽しみです。完成しましたら、プロジェクトのドキュメンタリー記事を期待しています。

この11月は、大阪で11日から13日まで開かれるAPDXCと、タイのパタヤで18日から21日まで開かれるSEANETコンベンションに参加の予定です。(de JA3AER)



JASAER

第44回 SEANETコンベンション 参加速報

JASAER 荒川泰蔵

第44回SEANETコンベンションは、2016年11月18日から4日間、タイのパタヤ(Pattaya)にあるPattaya Discovery Beach Hotelで開かれた。今回の参加者は約150名で、海外17ヶ国からの約110名の内、日本からは23名と最多であった。フィリピンから参加のDU1YV (JA2KLT)丸山さん、インドから参加のVU30TK (JM1NCA)太田さん、タイ在住のJM1KNQ阿部さんを加えて日本人は26名であった。早速コンベンションの特別局HS44SEAを訪ねてみた。12階の1室に設置されていたHS44SEA局のリグはIC-7300が2台、FT-2000とFT-2900がそれぞれ1台で、コンベンションの期間中、参加者にはゲストオペを許していた。アンテナは屋上にHF 3バンド用8エレ八木、7MHz用水平ダイポールその他、VHF用の垂直アンテナが上げられていた。

詳細はFBニュース12月号と、CQ誌2017年1月号に掲載される予定ですので、それをご覧ください。



1日目 : (左) HS44SEAでCQを出す筆者と、(右) 13階建てのホテルの屋上に仮設されたアンテナ群。



2日目 : 講演する元RAST会長HS1YL, Mayureeさんと通訳のHSOZDX, Tony さん。
(右) 聴講する筆者とVU30TK太田さん。



3日目 : (左) 観光地での参加者全員の集合写真と、(右) 日本人参加者のグループ写真。



*** アマチュア無線 QSLカード切手 (その6) ***
JA3AER 荒川泰蔵



1. フランス (F) のQSL切手3種

前回のベルギーに続いて今回はフランスを紹介しましょう。フランスのQSL切手も3種類ありました(写真1)。まず最初のType1はREFのロゴにQSLの文字を入れて濃い青色地に白抜き印刷で、1937年に使われていたカードが3枚ありました。次いでType2は中央にロゴマークをあしらい、左上にREF、右下にQSLの文字を縦書きに入れた青色の印刷で、1939年から1974年にかけて使われたカードが11枚ありました。最後のType3はデザインが同じで、刷色が赤色に変わったもので、1966年から1979年にかけて使われたカードが16枚ありました。

Type 1

Type 2

Type 3



写真1 フランスのQSL切手3種。左からType 1, Type 2, Type 3と名付けておきます。

2. フランス (F) のType 1 のQSL切手が貼られたQSLカード (F3CK, FA8DA) の事例 (1937-38年)

Type 1のQSL切手は3枚ありましたが、いずれも1937年の使用で、短期間の使用であったようです(写真2 & 3)。



(上) 写真2 Type 1 のQSL切手が貼られたQSLカード (F3CK) の事例 (1937年)

(下) 写真3 Type 1 のQSL切手が貼られたアルジェリアQSLカード (FA8DA) の事例 (1937年)

3. フランス (F) のType 2 のQSL切手が貼られたQSLカード (F2AD) の事例 (1950年)

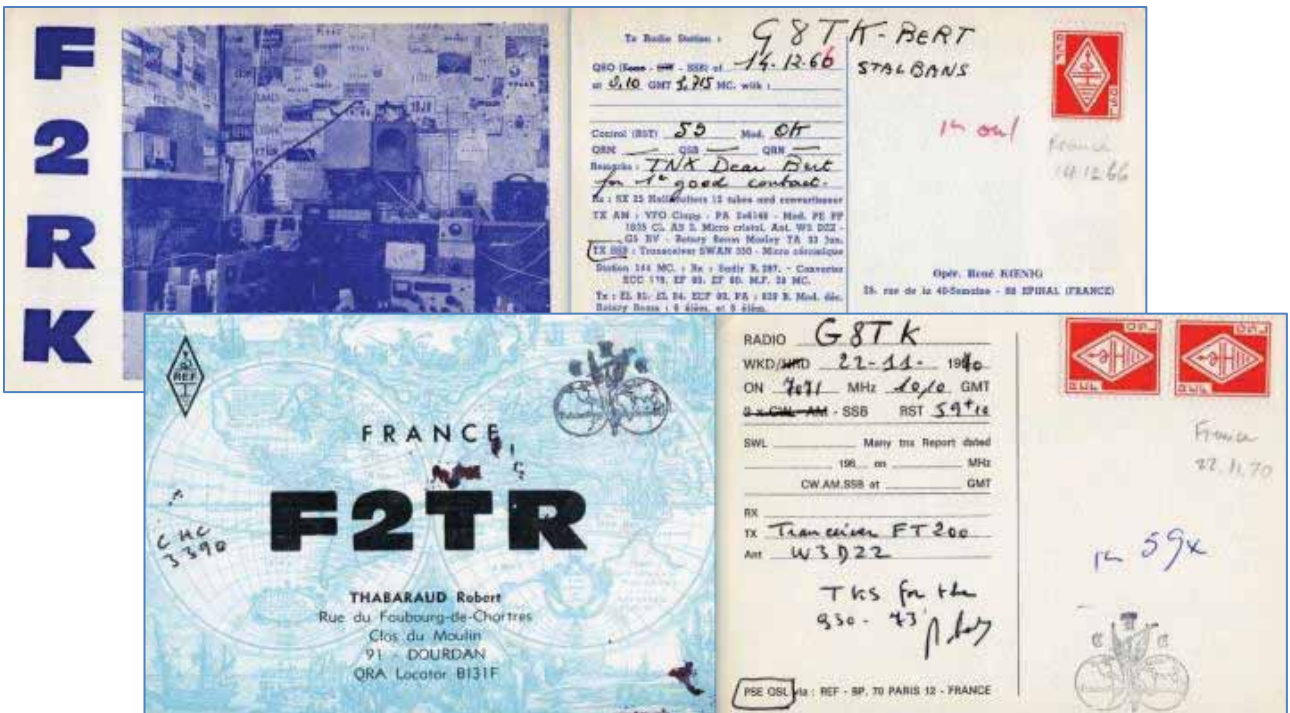
Type 2のQSL切手は11枚あり、1939年から1974年のQSLカードに使われていたもので、長期間使用されたものと思われます(写真4)。



写真4 Type 2 のQSL切手が2枚貼られた、原子力エネルギー委員会(CEA)の芸術と文化協会のクラブ局と思われる2つ折りのQSLカード (F2AD) の事例 (1950年)

4. フランス (F) のType 3 のQSL切手が貼られたQSLカード (F2RK F2TR) の事例 (1966, 1970年)

Type 3のQSL切手は16枚あり、1966年から1979年にかけて使われてるので、これも、かなり長期間使用されたものと思われます(写真5 & 6)。



(上) 写真5 Type 3 のQSL切手が貼られたQSLカード (F2RK) の事例 (1966年)

(下) 写真6 Type 3 のQSL切手2枚が貼られたQSLカード (F2TR) の事例 (1970年)

5. フランス (F) のType 3 のQSL切手が貼られたフランス本土以外のQSLカードの事例 (1974~1979年)

Type 3 のが貼られたQSLカード16枚中、コルシカ島が2枚、仏領ギアナが1枚、ドイツが2枚ありました(写真7~10)。

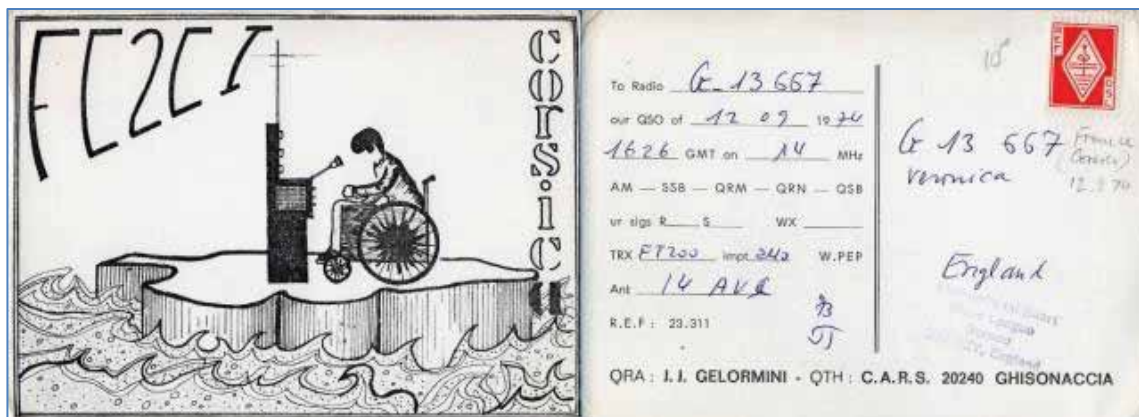


写真7 Type 3 のQSL切手が貼られたコルシカ島のQSLカード (FC2CI) の事例 (1974年)

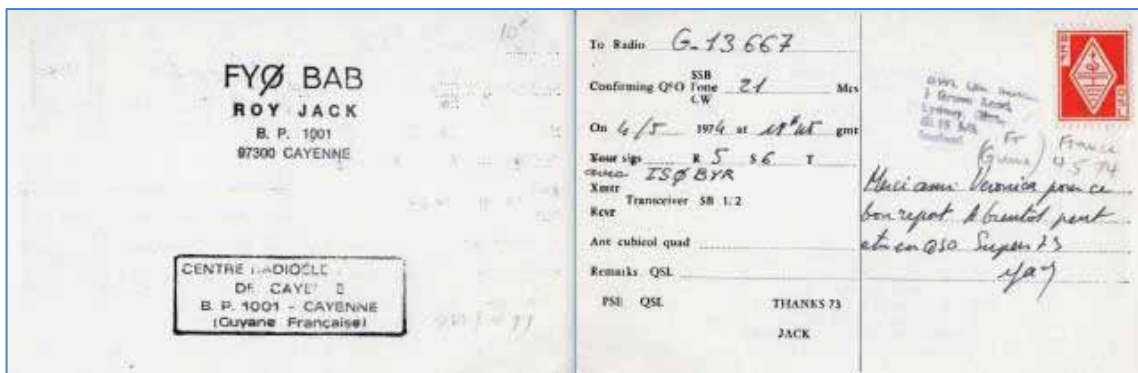
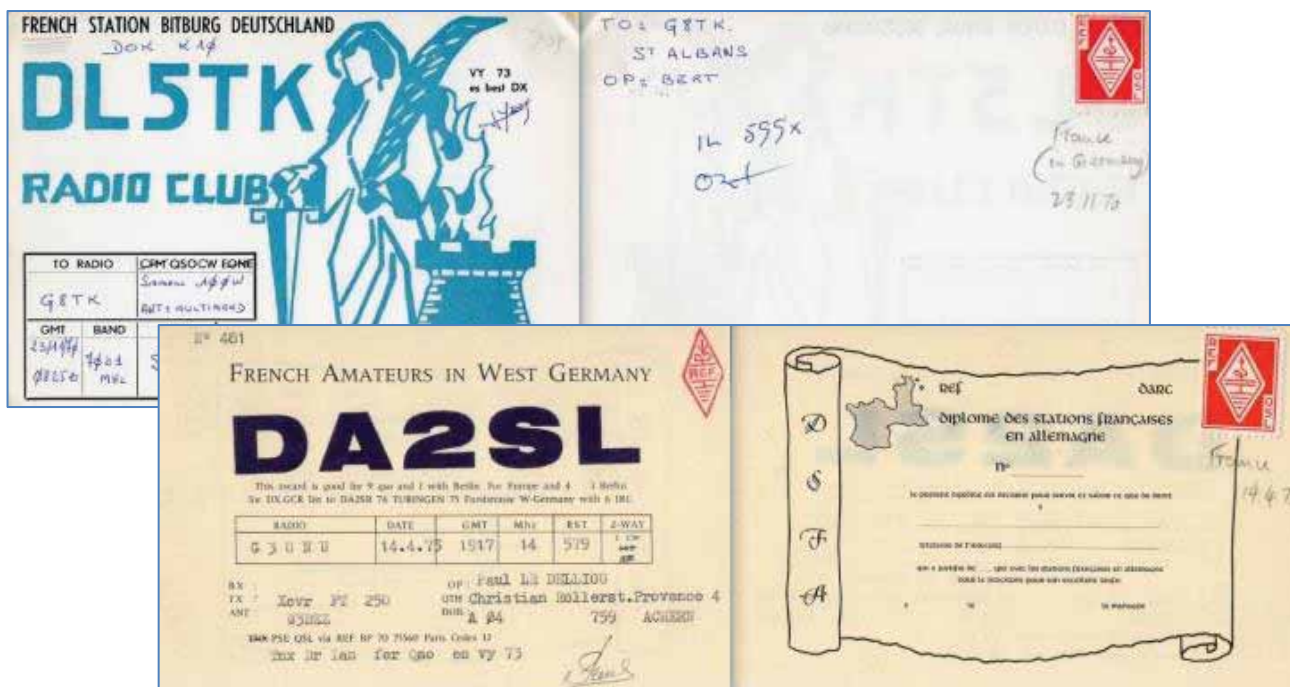


写真8 Type 3 のQSL切手が貼られた仏領ギアナのQSLカード (FYØBAB) の事例 (1974年)



(上) 写真9 Type 3 のQSL切手が貼られたドイツ内のフランス局のQSLカード (DL5TK) の事例 (1970年)

(下) 写真10 Type 3 のQSL切手が貼られたドイツ内のフランス局のQSLカード

(F2TR) の事例 (1975年)

次号に続く



*** アマチュア無線 QSLカード切手 (その7) ***
J3AER 荒川泰蔵



1. オランダ (PA) のQSL切手7種

前回のフランスに続いて今回はオランダを紹介しましょう。オランダのQSL切手の図案は3種類ですが、色の違いを含めると7種類になります(写真1)。先ず最初のType1とType2は、左側に連盟VERONの前身と思われるNVIRの文字が縦に入った図案で、用紙が黄色とピンクの2種類です。次のType3からType5は連盟Veronのロゴマークをあしらい、下にQSLビューローのメーリングアドレスが書かれた図案で、刷り色が青色、赤色、橙色の3種類です。最後のType6とType7は「オランダの公式QSLビューローはVeronでありIARUの一部門である」旨の表示がある図案で大型になって、黒色での印刷ですが、用紙が白色と黄色の2種類です。

Type 1 Type 2 Type 3 Type 4 Type 5 Type 6 Type 7



写真1 オランダのQSL切手7種。左からType 1, Type 2. Type 3 と名付けておきます。

2. オランダ (PA) のType 1 と Type 2 のQSL切手が貼られたQSLカード (PAODSと PAOYN) の事例 (1937-1939年)

Type 1 は黄色の紙に、Type 2 はピンクの紙に、黒色でNVIR(団体の名称と思われる)とQSL BUREAUの文字が印刷されています。そして、これらのQSL切手が貼られたQSLカードには、N. V. I. R. QSL BUREAUのゴム印が押されています。Type 1 と Type 2 のQSLカードを貼ったQSLカードはそれぞれ2枚ありましたが、Type 1の1枚が1937年の使用で、他の3枚は1939年ですので、比較的短期間の使用であったと思われます(写真2)。

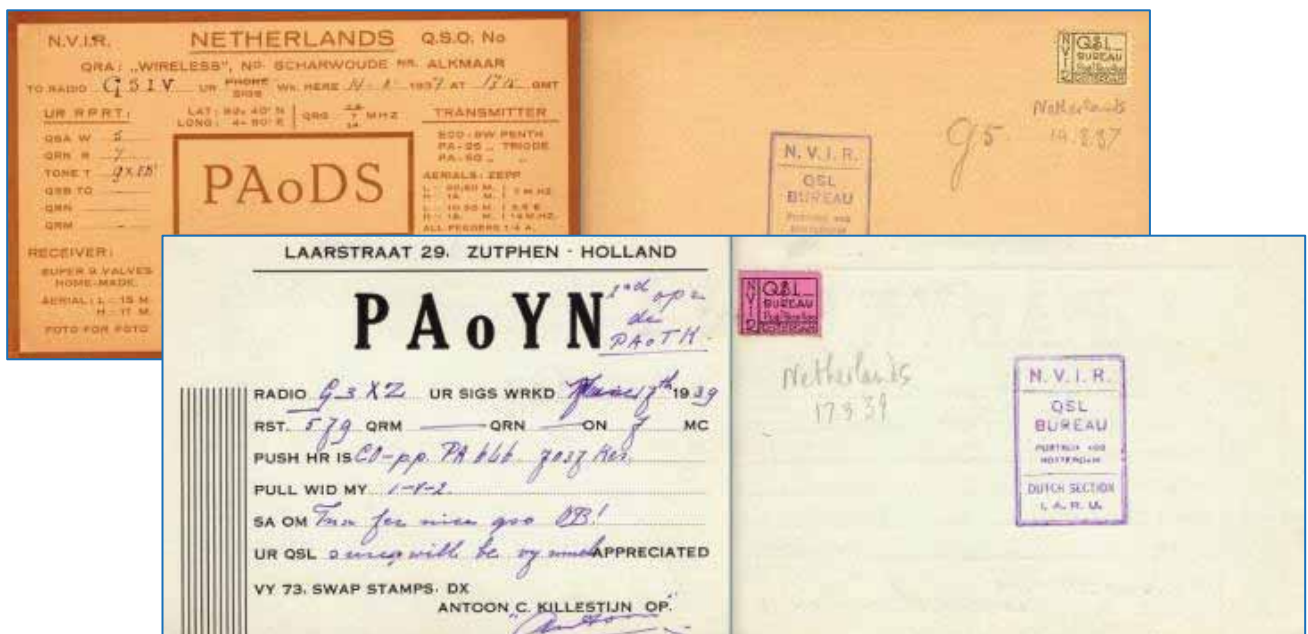


写真2 (上) Type 1 のQSL切手が貼られたQSLカード (PAODS) の事例 (1937年)

(下) Type 2 のQSL切手が貼られたQSLカード (PAOYN) の事例 (1939年)

3. オランダ (PA) のType 3 のQSL切手が貼られたQSLカード (PAOTW) の事例 (1948年)
 Type 3のQSL切手を貼ったQSLカードは4枚あり、1948年から1954年のQSLカードに使われていました(写真3)、Type 2が使われていた1939年から10年近くの空白があります。



写真3 Type 3 のQSL切手が貼られたQSLカード (PAOTW) の事例 (1948年)

4. オランダ (PA) のType 4 のQSL切手が貼られたQSLカード (PAOKOP) の事例 (1949年)
 Type 4のQSL切手を貼ったQSLカードは2枚あり、1949年と1950年のQSLカードに使われてました(写真4)。。刷り色の違うType 3やtype 5とも同時期に使われています。

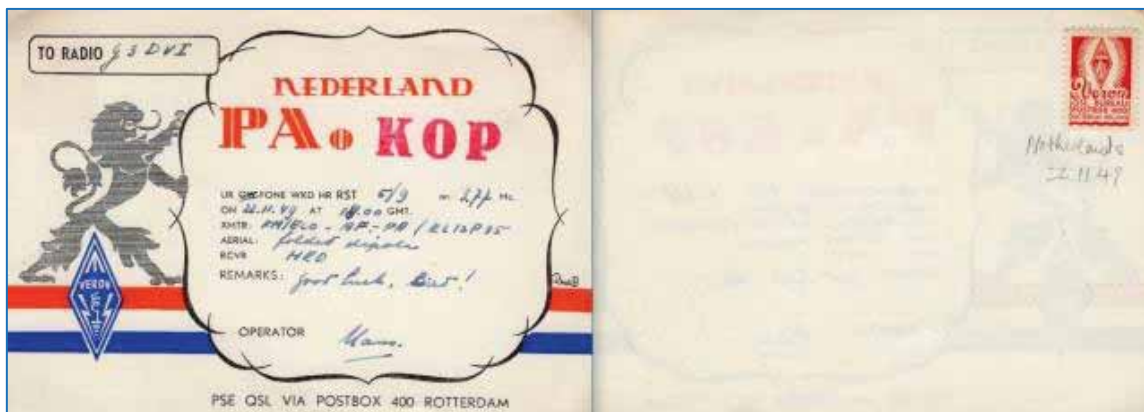


写真4 Type 4 のQSL切手が貼られたQSLカード (PAOKOP) の事例 (1949年)

5. オランダ (PA) のType 5 のQSL切手が貼られたQSLカード (PAOBA) の事例 (1951年)
 Type 5のQSL切手を貼ったQSLカードは、1951年に使われたこの1枚しかありませんでした(写真5)。

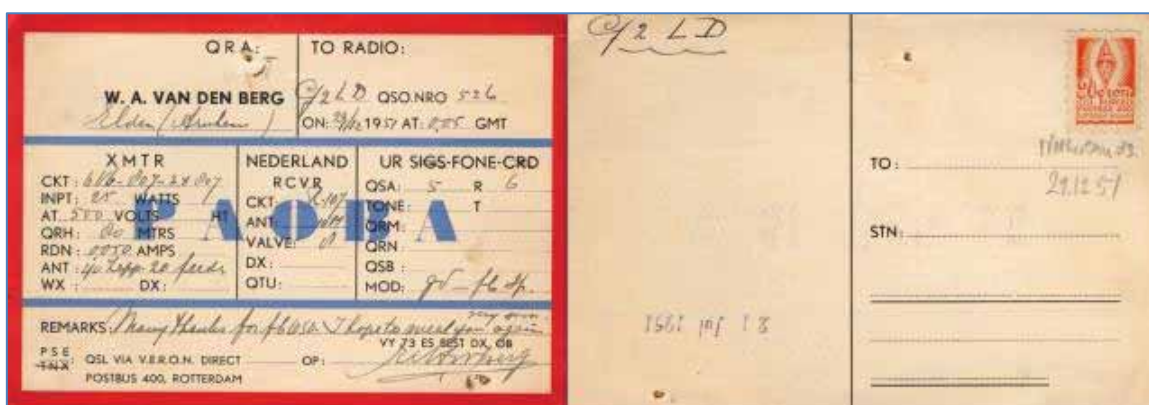


写真5 Type 5 のQSL切手が貼られたQSLカード (PAOBA) の事例 (1951年)

6. オランダ (PA) の Type 6 の QSL切手が貼られた QSLカード (PAOKE) の事例 (1958年)
 Type 6 の QSL切手が貼られた QSLカードは、最も多く7枚あり、1957年から1960年の間に使われていました(写真6)。

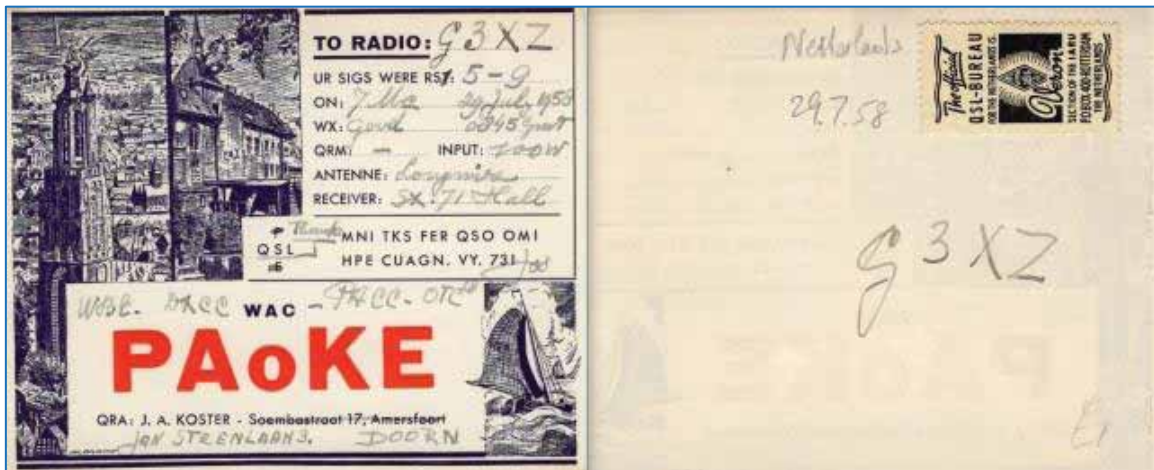


写真6 Type 6 の QSL切手が貼られた QSLカード (PAOKE) の事例 (1958年)

7. オランダ (PA) の Type 7 の QSL切手が貼られた QSLカード (PAOLGR) の事例 (1962年)
 Type 7 の QSL切手が貼られた QSLカードは3枚あり、1枚は時期が不明でしたが、他の2枚は1962年と1966年の使用でした。上記Type 6のQSL切手より、少し後の時期に使われたよう



写真7 Type 7 の QSL切手が貼られた QSLカード (PAOLGR) の事例 (1962年)

8. オランダ (PA) のクラブ局の QSLカード (PI1VKL) に Type 6 の QSL切手が貼られた事例 (1960年)

当時のオランダの個人局のプリフェックスはPAだったようですが、クラブ局のプリフェックスはPIだったようです(写真8)。このQSLカードにはType 6のQSL切手が貼られています。

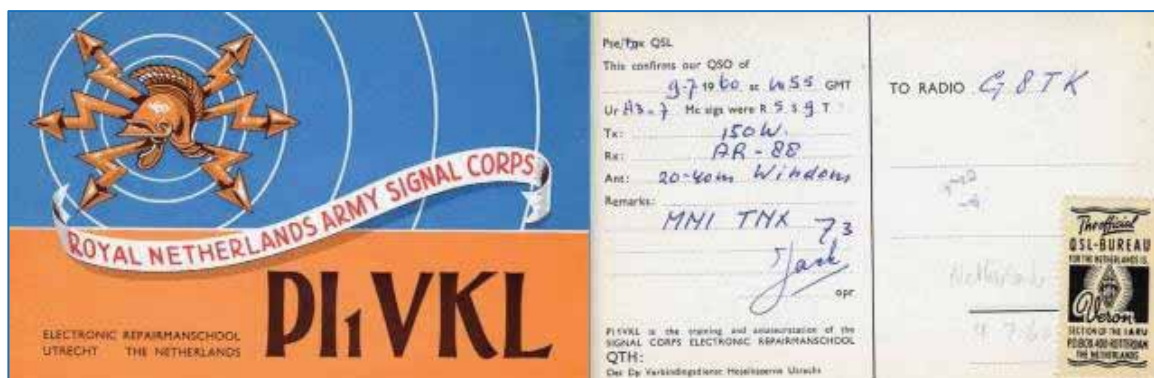


写真8 Type 6 の QSL切手が貼られた陸軍通信隊クラブ局の QSLカード (PI1VKL) の事例 (1960年)



J3AER



*** アマチュア無線 QSLカード切手 (その8) ***
J3AER 荒川泰蔵



1. スペイン (EA) のQSL切手6種

前回のオランダに続いて今回はスペインを紹介しましょう。スペインのQSL切手の図案は2種類ですが、色の違いや目打ちの違いを含めると6種類になります(写真1)。先ず最初のType1は、連盟UREのロゴマークを中央にあしらい、その周囲に SERVICIO, Q.S.L., BOX, 220, と、上下に ESPANA, MADRID の文字が入っています。刷り色は薄い青色と濃い青色の2種があります。Type 2 から Type 6 までは、中央にUREのロゴマークをあしらい、上下に TRAFICO と Q.S.L.の文字を入れた同じ図案ですが、用紙の色、刷り色、目打などに違いがありますので、年代順に並べて、その特徴等を表にしてみました。



Type	大きさ	印面mm	地色	印刷	ロゴ	目打	使用年	ゴム印	件数	備考
1a	大	25 x 16	白	薄青	薄青	鑽孔	1949-50	URE	2	1枚貼
1b	大	25 x 16	白	濃青	濃青	鑽孔	1950-54	URE,日付	2	1枚貼
2	小	19 x 12	黄	濃赤	黒	鑽孔	1956-62	日付	3	1枚貼
3	小	19 x 12	白	赤	青	鑽孔	1968-70	なし	2	2枚貼
4	小	19 x 12	黄	赤	青	ルーラー	1973	なし	2	1,2枚貼
5	中	21 x 13	白	緑	赤	ルーラー	1980	なし	2	1枚貼
6	中	21 x 13	白	青	赤	ルーラー	1981	なし	1	1枚貼

写真1 スペインのQSL切手6種と、それぞれの特徴等の一覧表。

2. スペイン (EA) のType 1a のQSL切手が貼られたQSLカード (EA7CP) の事例 (1949年)

Type 1a のQSL切手を貼ったQSLカードの事例です。この他に1950年のQSLカードがもう一枚ありました。このQSL切手の刷り色は青色ですが、後に濃い青色のQSL切手が使われた1950年と1954年のQSLカードが2枚ありました。これらのカードには紫色のゴム印が押されています(写真2)。ゴム印は1950年までのQSLカードにはUREのロゴマークと、TRAFICO, U.R.E., Box 220, MADRID の文字が見え、1954年のカードには U.R.E., TRAFICO QSL, APARTADO 220, MADRID の文字と日付が入っています。

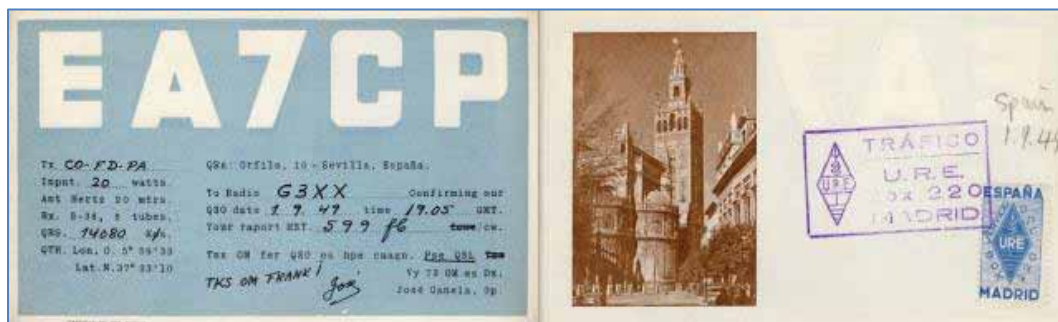


写真2 Type 1 のQSL切手が貼られたQSLカード(EA7CP)の事例 (1949年)

3. スペイン(EA)のType 2のQSL切手が貼られたQSLカード(EA7GS)の事例(1962年)

Type 2のQSL切手を貼ったQSLカードは3枚あり、1956年から1962年のQSLカードに使われていました、Type 2が使われていたこの時期のQSLカードには、日付の入ったゴム印が押されています(写真3)。



写真3 Type 2のQSL切手が貼られたQSLカード(EA7GS)の事例(1962年)

4. スペイン(EA)のType 2のQSL切手が貼られたSWLカード(EA4-776U)とQSLカード(EA8AI)の事例(1956-59年)

Type 2のQSL切手を貼った残りの2枚は、ここに示すSWLカードと、カナリア諸島(EA8)で使われたものでした(写真4)。



写真4 (上) Type 2のQSL切手が貼られたSWLカード(EA4-776U)の事例(1959年)

(下) Type 2のQSL切手が貼られたカナリア諸島のQSLカード(EA8AI)の事例(1956年)

5. スペイン(EA)のType 3のQSL切手が貼られたQSLカード(EA4DD)の事例(1970年)

Type 3のQSL切手を貼ったQSLカードは2枚ありましたが、何故かいずれにもQSL切手を2枚貼っています(写真5)。



写真5 Type 3のQSL切手が2枚貼られたQSLカード(EA4DD)の事例(1970年)

6. スペイン (EA) のType 4 のQSL切手が貼られたQSLカード (EA6BP) の事例 (1973年)

Type 4 のQSL切手が貼られたQSLカードも2枚ありましたが、いずれも1973年のカードですが、内1枚のこのカードにはQSL切手が2枚貼られています(写真6)。

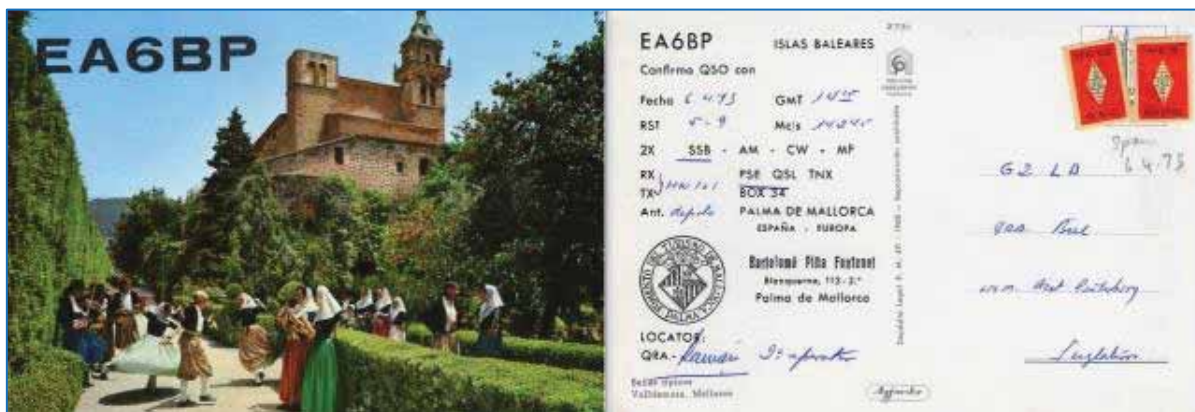


写真6 Type 4 のQSL切手が2枚貼られたQSLカード(EA6BP)の事例 (1973年)

7. スペイン (EA) のType 5 のQSL切手が貼られたQSLカード (EC3AK) の事例 (1980年)

Type 5 のQSL切手が貼られたQSLカードも2枚ありましたが、いずれも1980年のカードです(写真7)。

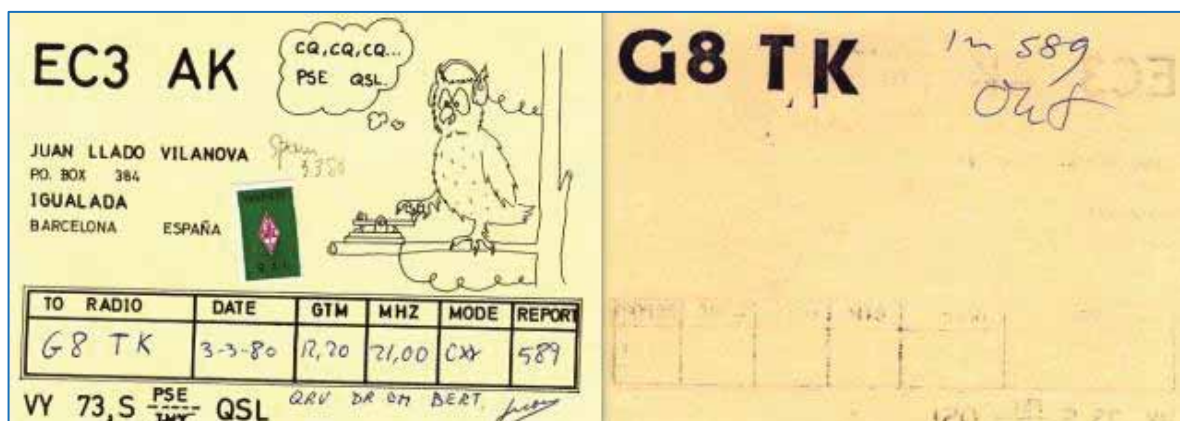


写真7 Type 5 のQSL切手が貼られたQSLカード(EC3AK)の事例 (1980年)

8. スペイン (EA) のType 6 のQSL切手が貼られたQSLカード(EA1TA) 事例 (1981年)

Type 6 のQSL切手が貼られたQSLカードは、1981年のこの1枚しかありませんでした(写真7)。



写真8 Type 6 のQSL切手が貼られたQSLカード(EA1TA)の事例 (1981年)



J3AER



*** アマチュア無線 QSLカード切手 (その9) ***
J3AER 荒川泰蔵



1. カリブ海とWDW からの2枚の絵葉書

NDXAのメンバーであり、このReportの編集長でもあるJP3AYQ眞田さんが、カリブ海のディズニー・クルーズの旅に出かけられると、羨ましい話を聞きつけ、船内郵便のPaquebot印を押した郵便物が入手できるかもと、厚かましく船内から絵葉書を送ってくれるよう依頼しました。フランス語に精通した会長JJ3PRT青木さんによりますと、Paquebotとはフランス語でクルーズ船とのこと。船舶での郵便物は船籍の国の切手を貼って、寄港地の郵便局経由で差し出すことが出来る、国際条約があるらしく、消印又は別にゴム印で「Paquebot」と表示されるのです。眞田さんご協力有難うございました。

その第1便が2017年2月8日に到着し**(写真1)**た。カリブ海を航行中のDisney Cruise Line 船上から差し出された、南国の砂浜に椰子の木と海上浮かぶにクルーズ船の綺麗な、Disney Cruise Lineの公式絵葉書です。これには米国の無額面GLOVAL FOREVER切手(現在\$1.15で、1オンス以内の封書用)が貼られています。ORLANDO FL 328 郵便局の2017年1月30日付、インクジェット式消印は裏側に、しかも逆さまにプリントされています。米国籍の船で米国の港に降ろされたく、結果的には米国内での差し立てと変わらない消印になってしまいましたが、これはこれで貴重な資料になりました。

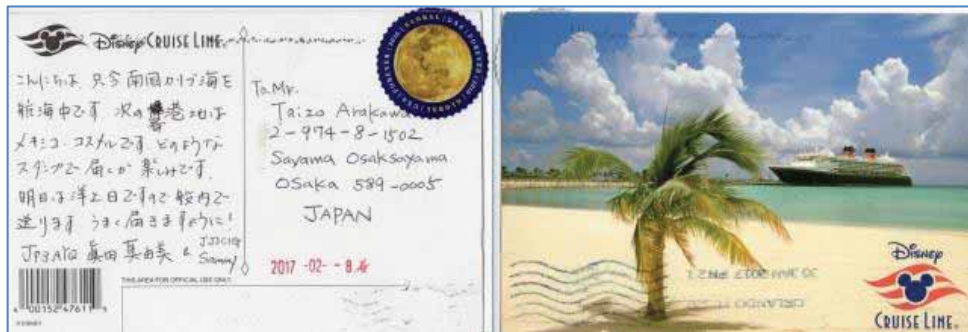


写真1 カリブ海を航行中のDisney Cruise Line 船上から差し出された絵葉書。

続く第2便は2017年2月10日に到着しました**(写真2)**。WDW(ウォルト・ディズニー・ワールド)のエプコット(実験未来都市)から差し出された、ミッキー・マウスとお城を描いた可愛い絵葉書には、米国の無額面POSTCARD切手(現在34¢で、米国内のはがき用) が貼られ、ORLANDO FL 328 郵便局の、2017年1月31日付機械消印が押されています。エプコットで押されたと思われる、シンボルの捺印のインクが乾かぬまま重ねられたのか、絵葉書の表面がそのインクで汚れています。



写真2 WDWのエプコットから差し出された絵葉書。

2. ノルウェー (LA) のQSL切手1種とそれが貼られたQSLカード (LA7R) の事例 (1937年)

前回のスペインに続いて北欧を紹介したいと思います。フィンランド(OH)とデンマーク(OZ)のQSLカードがありませんので、ノルウェー (LA) とスウェーデン(SM)の2ヶ国になります。先ずノルウェー(LA) のQSLカードは1枚しかありませんが、それには連盟NRRLのロゴマークと、その下にQSLの文字をあしらった黒1色のQSL切手が貼られています(写真3)。

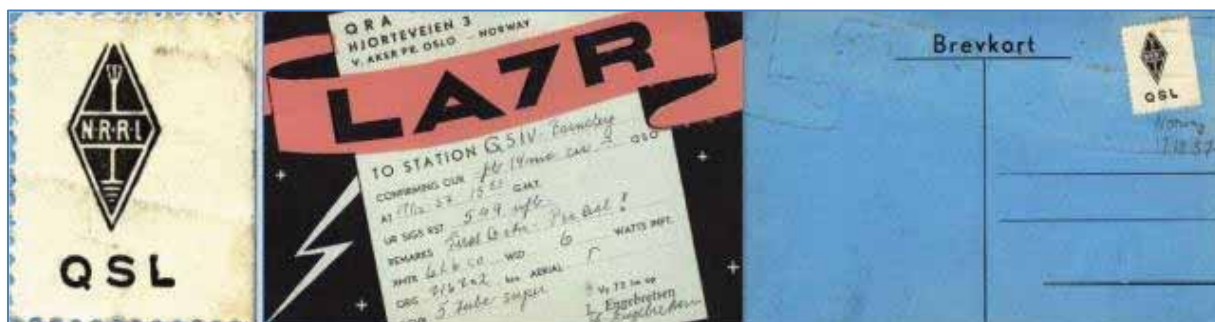


写真3 (左)ノルウェーのQSL切手と、(右)その切手が貼られたQSLカード(LA7R)の事例 (1937年)

3. スウェーデン (SM) のQSL切手4種

続いてのスウェーデン(SM)のQSLカードは13枚ありました。それらのQSL切手を調べて見ますと4種類になります(写真4)。最初のType 1は、中央にスウェーデンの国の形を黄色で表し、左上に連盟SSAのロゴマークと下に連盟の名称が描かれています。そして、上部には1925-1950の文字が見えますので、SSA創立25周年記念に作られたものと思われます。次のType 2からType 4までは、連盟SSAのロゴマークとその右にQSLの文字を縦に入れたデザインですが、サイズ、刷色、目打、書体の違いから分類してみました。

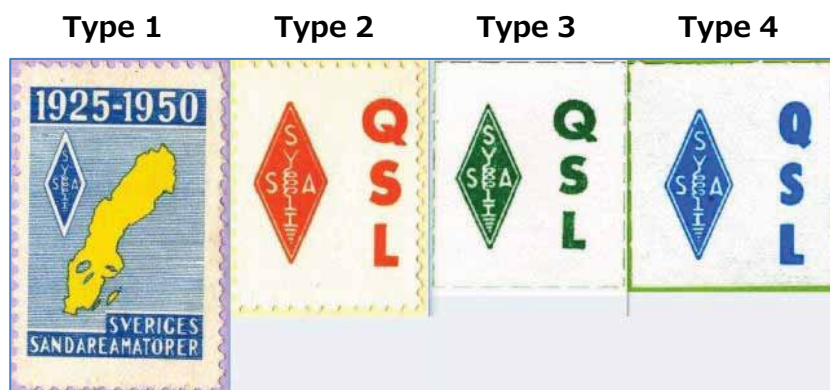


写真4 スウェーデンのQSL切手4種。

4. スウェーデン (SM) のType 1のQSL切手が貼られたQSLカード (SM5CD) の事例 (1950年)

Type 1のQSL切手が貼られた唯一のQSLカードの事例で、このQSL切手が発行されたと思われる1950年に使われています。QSL切手は青色と黄色の2色刷りで鑽孔目打があり、28 x 21mm と大きなサイズです(写真5)。

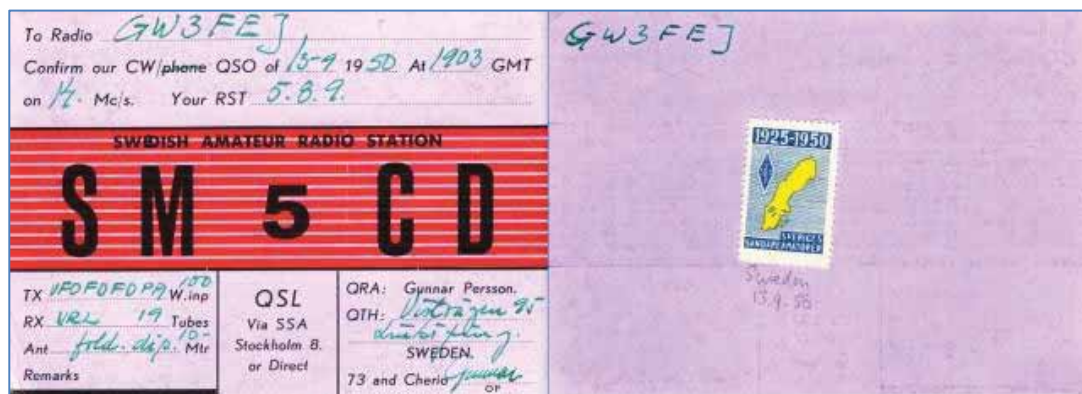


写真5 Type 1 のQSL切手が貼られたQSLカード(SM5CD)の事例 (1950年)

5. スウェーデン (SM) のType 2のQSL切手が貼られたQSLカード (SM2BAI) の事例 (1970年)

Type 2のQSL切手を貼ったQSLカードは8枚あり、個人局が5枚、クラブ局が2枚、SWLカードが1枚でしたが、1967年から1973年の間に使われていました。ここに示すのは、個人局の内の1枚です。QSL切手はオレンジ色の印刷で、鑽孔目打があり、28 x 21mmのType1に比べて小さくなっています。QSLカードに書かれたイラストも楽しめます(写真6)。

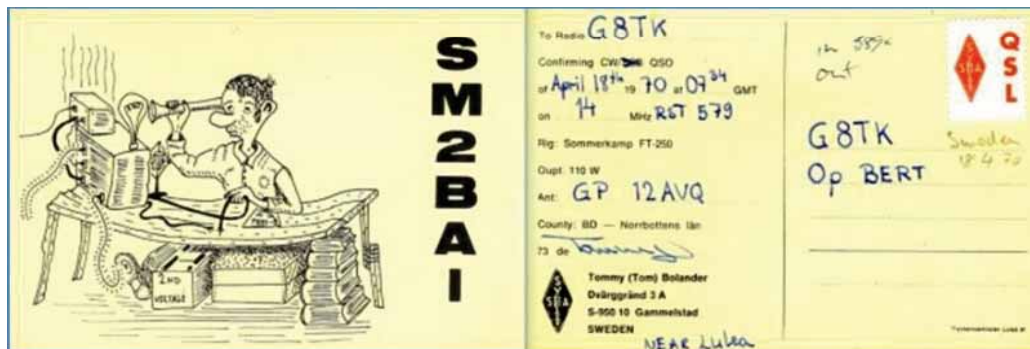


写真6 Type 2 のQSL切手が貼られたQSLカード(SM2BAI)の事例 (1970年)

6. スウェーデン (SM) のType 2 のQSL切手が貼られたクラブ局 のQSLカード (SL0AX) の事例 (1970年)

Type 2のQSL切手を貼ったクラブ局のカードですが、SL5AXの「5」を消して「0」に書きかえられています。他にSL5CBのQSLカード(1967年)がありますが、これもSL0CBと書き添えられていますので、この時期にプリフェイクスの変更があったのかも知れません。このQSLカードは、海軍トレーニングセンターのクラブ局のようですが、オペレーターはSM5AXIでサインまでしています(写真7)。



写真7 Type 2 のQSL切手が貼られたクラブ局(SL0AX)のQSLカードの事例 (1970年)

7. スウェーデン(SM) のType 2のQSL切手が貼られたSWLカード (SM7BHU/EA8) の事例 (1969年)

Type 2のQSL切手を貼ったSWLカードの事例ですが、スウェーデン本国ではなくカナリア諸島(EA8)でのものです。UREとSSAの2つの連盟のメンバーのようですが、スペインのQSLビューローを使わず、本国のQSLビューロー経由で送ったようです。これには何故か2枚のQSL切手が貼られています。この時代、相互運用協定がまだなかったのかと想像させるSWLカードです(写真8)。

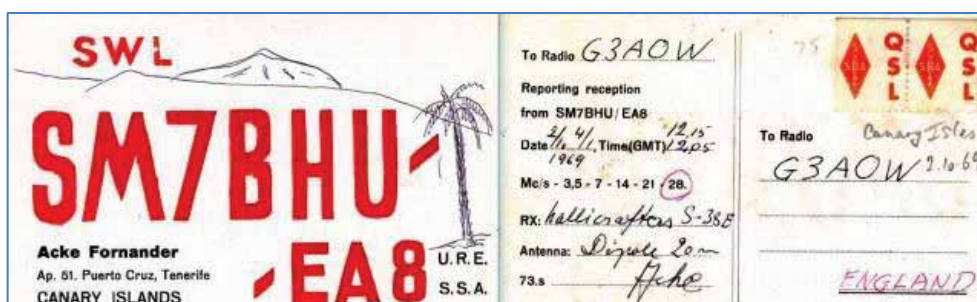


写真8 Type 2 のQSL切手が2枚貼られたSWLカード(SM7BHU/EA8)の事例 (1969年)

8. スウェーデン (SM) のType 3 のQSL切手が貼られたQSLカード (SM2DVT & SM4JEW) の事例 (1979 & 1980年)

Type 3 のQSL切手が貼られたQSLカードは2枚ありました。QSL切手の刷り色は緑色に変わり、ルーラー目打に変わっています。またサイズは、24 x 21mmと少し小さくなっています(写真9)。

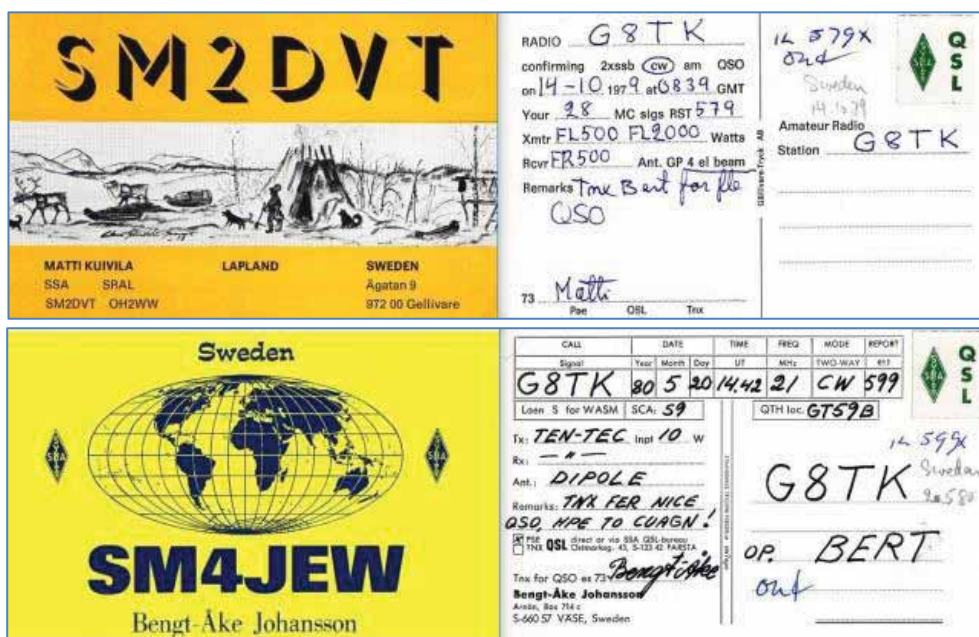


写真9 Type 3 のQSL切手が貼られたQSLカード(SM2DVT & SM4JEW)の事例 (1979 & 1980年)

9. スウェーデン (SM) のType 4 のQSL切手が貼られたQSLカード (SM6JSS & SM6KMD) の事例 (1980 & 1982年)

Type 4 のQSL切手が貼られたQSLカードも2枚ありました。QSL切手の刷り色が青色に変わり、QSLの書体が少し変わっていますが、目打やサイズはType 3 と同じです。(写真10)。

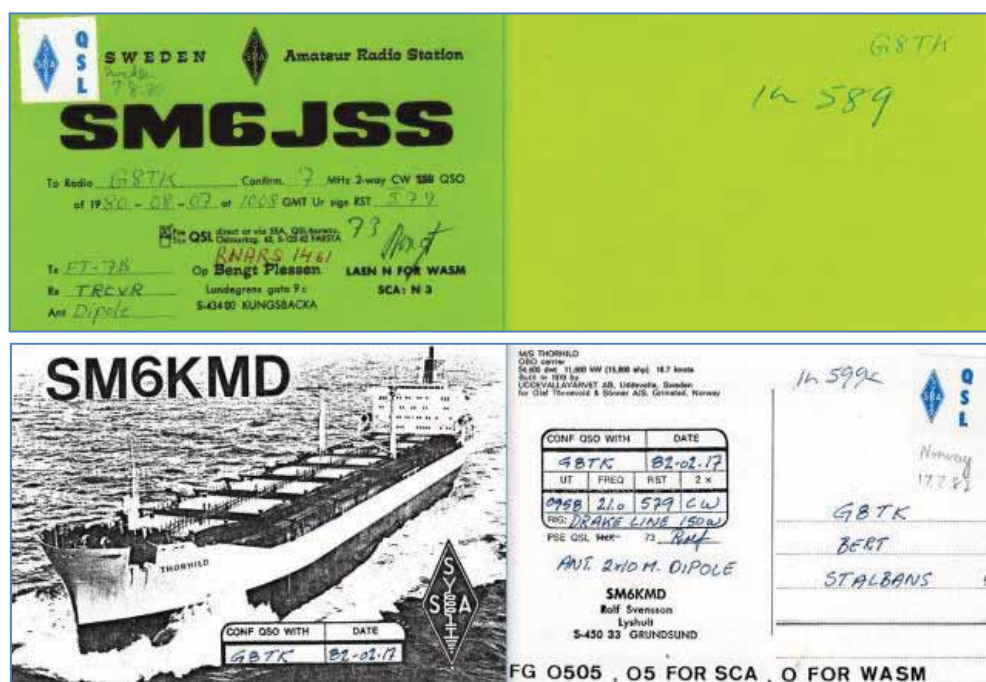


写真10 Type 4 のQSL切手が貼られたQSLカード(SM6JSS & SM6KMD) の事例 (1980 & 1982年)